



看護倫理検討事例報告会を開催しました。
今回の報告会では、日々の看護実践の中で直面する倫理的な課題について、深く考える貴重な時間となりました。

時 間	部 署 名	テ ー マ	発 表 者 名
1 14:05~	看護	外国人患者の療養的・文化的課題に対する看護実践の課題	沼田 恵
2 14:11~	2西	終末期の患者とその家族へのケアについて	石橋 麻衣子
3 14:17~	3東・NICU	母親の役割と看護職との連携に対する実践	金城 愛美
4 14:23~	3西	患者の関与しない決定した治療に対する在宅支援について	寺林 恵美
14:29~14:40 質疑・応答(調整含む)			
時 間	部 署 名	テ ー マ	発 表 者 名
5 14:40~	4東	ADL、要介護の患者の思いに基づいた看護	御村 智子
6 14:46~	4西	認知症のある患者とその家族の思いに基づいた看護	江崎 晴香
7 14:52~	5東	生命維持装置のある患者の意思決定と今後の課題	山下 真香子
8 14:58~	5西	転倒防止の観点による看護職の介入と患者の意思決定	田中 優子
9 15:04~	6東	転倒防止の観点による看護職の介入と患者の意思決定	鈴木 彩加
15:10~15:25 質疑・応答(調整含む)			
時 間	部 署 名	テ ー マ	発 表 者 名
10 15:25~	手術室	手術室の患者の意思決定と看護職の役割について	伊藤 雅美
11 15:31~	中夜	下咽部手術後の患者の意思決定と看護職の役割について	山田 愛
12 15:37~	外来・透析	化学療法による患者の意思決定と看護職の役割について	小林 千花
15:43~15:55 質疑・応答(調整含む)			



参加者の皆さんがそれぞれの立場から意見を
交わす姿に、看護の本質が垣間見えました。
ケアだけでなく、その背景にある患者さんの思いや
人生にまで心を配っている姿勢が伝わってきました。

